

チェコ体操運動における「公的なもの」の変容 ソコル体操協会の機関誌に見る身体の国民化

福田 宏

(北大スラブ研究センター COE 研究員)

はじめに 市民的公共圏から国民的公共圏へ

1. ソコルは民主主義の学校？ 図 7 (p.12) 参照
... それ [ソコル] は民主主義の学校です。私がソコルで体操をしていた時には、労働者や学校の先生もそこにいました。私の隣に労働者が立っていたとき、私が彼に「君」で呼びかけると、彼は私のことを「おまえ」と言ったり「あなた」と言ったりと、はっきりしなかったのです。
Antonín Krejčí, *T. G. Masaryk a Sokol* [マサリクとソコル], Praha, 1947, pp.45-46.
2. 課題 機関誌 *Sokol* (1871-1914) より公共圏の二重の変容を明らかにする
 - ・量的な拡大 大衆の国民化
 - ・質的な拡大 市民的価値観 (respectability) の変容 cf. モッセ [24]
3. 先行研究 (チェコ) 刃刀 [21], Nolte [25,26], (独) 有賀 [8], 小原 [27], Goltermann [14], Krüger [20]. (社会的なるもの) Giustino [13], 市野川 [16], 川越 [17], 見市 [23], 阪上 [29].

1 チェコ社会におけるアソシエーション

結社活動の拡大 (1848-1914) 図 3, 4 (p.10) 参照

- ・ 1848 年革命時、1860 年代の興隆期、73-79 年不況時の停滞期、1879 年以降の発展

2 ソコル運動における「市民層」と「大衆」の出会い

1. 結社活動における統計学の眼差し 表 1 (p.8) 参照
 - ・ 1897 年 会員数 (体操会員 10,351 名)、体育館 (45/466 支部)、講演会 (380/466 支部)、討論会 (133/466 支部)、遠征 výlet (1,459 回)、見学会 vycházka (76/466 支部)、機関誌『ソコル』(2,643 部)、蔵書、軍隊への徴集 (1,326 名/10,351 名)
2. いらだちを見せる「市民層」
... なぜソコルの練習や会合に参加しないのかという質問に対し、[若者たちは] それはもう時代遅れなのだ、と答える。... 彼らは [体育館の] 平行棒や鉄棒を、まるで拷問部屋の道具か何かのように見つめるだけだ。... だが彼らは今や、女の子を追いかけて「走り běží」、... 「遠征 výlety」の代わりに「遊び回り zálety」、半リットルの「おもり břemeno」を持って熱心に腕を動かしているだけだ。...
Sokol 「何故我々のところでは熱心に体操に取り組まないのか？」 (17:2) 1891, p.17.
3. では何をすべきなのか？
 - ・ 推薦図書の設定、平易な廉価本の発行 J. A. コメンスキー『世界図絵』(1658)、J. J. ルソー『エミール』(1762)、S. スマイルズ『西国立志編 Self-Help』(1859)、H. T. バックル『世界文明史』(1857-61)、J. S. ミル『自由論』(1859)、H. スペンサーなど
 - ・ 講演会の改善 ワンランク上のプレゼンテーションを目指して

3 何を語るのか？ 国民としての自覚

1. 国民の歴史とそのシンボライズ 拙稿 [11]
2. 「我が祖国」の領域と他者のイメージ 拙稿 [9]
3. 国民の統合 階級と宗教の対立を超えて (特に 1890 年代後半)

4 市民的価値観の変容 「社会ダーウィニズム」の視点

1. 退廃 (Degeneration) への不安 「存在をめぐる絶え間のない闘争」(M. ティルシュ, 1871 年)
... 現在の諸国民は、危険な疫病や社会の急激な変化、新たな戦争や経済危機に晒されている。... [こうしたものへの] 不安が人民の全ての層を覆っていることを考えると、我々は電気、蒸気、電話の世紀に生きてると喜んでばかりはいられない。それは神経症の世紀でもあるのだ。精神病は近代的な病気、もっと言えば、流行の病気でもあるのだ。...
Sokol 「今日の人民社会の営みにおける病理学について」(23:5) 1897, p.102.
 - ・ 素朴な獲得形質説 (ex. ラマルク 1744-1829、ダーウィン 1809-82)
↔ 生殖質連続説 (ex. A. ヴァイスマン 1834-1914)
2. 燃焼する身体 表 2 (p.9) 参照 ex. 仏の生理学者 F. ラグランジュ (1846-1909) の視点
 - ・ 蒸気機関とのアナロジー 不完全燃焼は病気を引き起こす！
肥満、神経症、尿酸 (痛風)、老化、発汗による有害物質の排出
 - ・ 不健康なスポーツ、道徳的な体操
エゴイズム、不道徳、非国民的、非民主的、不健康 近代オリンピックに対する不信
3. 清潔な空間 衛生学 (公衆衛生) の視点
 - ・ 公衆衛生のモデルとしての体育館 図 1 (pp.3-4) 参照
床面、湿度、空間、換気、暖房、照明、シャワー室、トイレ etc.
 - ・ 屋内よりも屋外、器械体操よりも徒手体操 公共性 (veřejnost) の重視
4. 健全なる肉体に健全なる精神 身体と精神の一体化
 - ・ 労働の分業、国際的な経済競争が国民をバラバラにする
 - ・ 夫婦間のモラルの崩壊、離婚、新聞に見る性病と自殺の増加、退廃する子供
体操によって社会問題 (sociální otázka) は解決される！

おわりに 観念的国民から生身の大众へ

1. まなざしの転換 社会学的視点の導入
2. 知の 3 つの層 cf. 阪上 [29]
 - (1) 社会における哲学や科学として認知されている知
 - (2) 習慣や習俗、実際の生活を律する知
 - (3) 中間に位置する知、(1) と (2) を媒介する知
3. ソコル運動を超えて 「社会的なるもの」の探究

年表

1811	F. ヤーンがベルリン郊外にて体操運動を始める（ドイツ体操運動の始まり）
1848 年革命	同年 6 月 2 日プラハでスラヴ人会議開催。同 12 日、プラハで聖霊降臨祭蜂起
1855	J. A. ゴビノー『人種不平等論』（アーリア人の優秀性を主張）
1857	H. スペンサー「進歩 その法則と原因」
1859	C. ダーウィン『種の起源』 1871 年に『人間の由来』
1860.10.20	「十月勅書」の発布、翌年 2 月 26 日には「二月勅令」。擬似立憲体制への移行
1862.1.16	プラハ・ドイツ体操協会の設立総会（プラハ）
1862.2.16	プラハにおいてチェコ系の体操協会が設立される（後にソコルと改名）
1865	「メンデルの法則」発見（今日でいう遺伝子の存在を指摘）
1867.3.15	アウスグライヒ（妥協）成立 オーストリア＝ハンガリー二重君主国へ
1869	初等学校にて体育の必修化。実家学校は 1874 年。ギムナジウムは 1890 年（選択科目）
1879	「反セム主義 Antisemitismus」という言葉が浸透し始める
1876	C. ロンブローゾ『犯罪人論』（犯罪者の医学的・人類学的研究）
1879.8.13	ターフェ内閣による「鉄の環」連合。ドイツ系自由派の下野、チェコ系政党は与党に
1880.4.19	シュトレスマイヤー言語令（チェコ語の外務公用語化）
1882.2.28	プラハ大学がチェコ語部門とドイツ語部門に分割される
1882	第 1 回ソコル祭典 《スラヴ的オリンピック》
1883	コッホによるコレラ菌の発見。この頃より病原体が相次いで発見される
1883	F. ゴールトンが優生学を提唱（人種改良の必要性を説く）
1887	プラハ市ヨゼフ地区の「衛生化措置」に関するコンペの結果発表。実際の工事は 1896 年から
1888	運動生理学の第一人者 F. ラグランジュの『身体運動の生理学』、1891 年に『成人の運動』
1889	チェコ諸領邦全体を統括する傘組織、チェコ・ソコル共同体（ČOS）が設立される
1892	社会民主党系のチェコ労働者体操協会（DTJ）が設立され始める
1892	M. ノルダウ『退廃』、1898 年のシオニスト会議にて「筋骨隆々のユダヤ人」を提唱
1896	カトリック系のチェコ体操団体オレル（Orel）が設立され始める
1897.4-	バデー二言語令（チェコ語の内務公用語化）がきっかけで、オーストリア全土に及ぶ騒乱に
1902	A. グロートヤーン『19 世紀の衛生文化』（社会衛生学の誕生）
1918.10.28	チェコスロヴァキア共和国の独立宣言

参考文献

[++] 同時代文献.

- [1] Věnceslav Havlíček. “Vliv Darwinovy nauky na Tyrše”. [ティルシュにおけるダーウィン理論の影響]. *Tyršův sborník*, No. 7, pp. 47–67, 1923.
- [2] Václav Kukaň. *Výchova lidu a Sokolstvo*. [人民の教育とソコル運動]. Praha, 1898.
- [3] Tomáš G. Masaryk. *Theorie dějin dle zásad T. H. Bucklea*. [T. H. バックルの原理に基づく歴史理論]. Praha, 1884. In *Spisy T. G. Masaryka*. Vol.17, Ústav T. G. Masaryka, Praha, pp.98–146. 1998.
- [4] *Památník vydaný na oslavu dvacetiletého trvání tělocvičné jednoty Sokola pražského*. [体操協会プラハ・ソコル 20 周年記念論集]. Praha, 1883.
- [5] D. Panýrek. “Tělocvik či sport?: S hlediska lékařského uvažuje Zdrav. odbor České Obce Sokolské” [体操かスポーツか? チェコ・ソコル共同体の衛生部門における医学的観点からの考察]. *Zdravotní hlídka (příloha Věstníku Sokolského)*, Vol. 2, No. 1, pp. 3–8, 1910.
- [6] Miroslav Tyrš. *O sokolské idej*. [ソコルの理念について]. Praha, 1930. 2 Vols.

[++] 二次文献.

- [7] マーク・アンダーソン著, 三谷研爾, 武林多寿子訳. 『カフカの衣装』. 高科書店, 1997.
- [8] 有賀郁敏. 「国民形成期ドイツにおけるトゥルネン協会史研究の課題と史料」. 『立命館大学人文科学研究紀要』, 79号, pp. 37-85, 2002.
- [9] 福田宏. 「『我が祖国』への想像力　ドイツ系多数地域におけるチェコ・ソコルの活動」. 『スラヴ研究』, 49号, pp. 29-50, 2002.
- [10] 福田宏. 「ソコルと国民形成　チェコスロヴァキアにおける体操運動」. 有賀郁敏他著『スポーツ』(近代ヨーロッパの探究 8), pp. 67-96. ミネルヴァ書房, 2002.
- [11] 福田宏. 「チェコにおける体操運動とネイション　ナショナル・シンボルをめぐる闘争」. 『東欧史研究』, 24号, pp. 27-47, 2002. その他の拙稿については <http://hfukuda.cool.ne.jp/sokol/main.htm> 参照.
- [12] サンダー・L. ギルマン著, 管啓次郎訳. 『ユダヤ人の身体』. 青土社, 1997.
- [13] Cathleen M. Giustino. *Tearing Down Prague's Jewish Town: Ghetto Clearance and the Legacy of Middle-Class Ethnic Politics around 1900*. Columbia University Press, New York, 2003.
- [14] Svenja Goltermann. *Körper der Nation: Habitusformierung und die Politik des Turnens 1860-1890*. Vandenhoeck & Ruprecht, Göttingen, 1998.
- [15] イアン・ハッキング著, 石原英樹, 重田園江訳. 『偶然を飼いならす　統計学と第二次科学革命』. 木鐸社, 1999.
- [16] 市野川容孝. 「『社会科学』としての医学　1848年のR. ヴィルヒョウによせて」. 『思想』, (上) 925号, pp. 196-224, 2001; (下) 939号, pp. 116-142, 2002.
- [17] 川越修. 「国民化する身体　ドイツにおける社会衛生学の誕生」. 『思想』, 884号, pp. 4-27, 1998年2月.
- [18] Alfred Kelly. *The Descent of Darwin: The Popularization of Darwinism in Germany, 1860-1914*. The University of North Carolina Press, Chapel Hill, 1981.
- [19] ユルゲン・コッカ編著, 望田幸男監訳. 『国際比較・近代ドイツの市民　心性・文化・政治』. ミネルヴァ書房, 2000.
- [20] Michael Krüger. *Körperkultur und Nationsbildung: die Geschichte des Turnens in der Reichsgründungsära; eine Detailstudie über die Deutschen*. Hoffmann, Schorndorf, 1996.
- [21] 刃刀俊雄. 「チェコスロヴァキア労働者スポーツ運動」. A. クリュウガー、J. リオーダン編、上野卓郎編訳『論集国際労働者スポーツ』, pp. 287-304. 民衆社, 1988.
- [22] Marek Lašt'ovka, Barbora Lašt'ovková, Tomáš Rataj, Jana Ratajová, and Josef Třikač. *Pražské spolky: soupis pražských spolků na základě úředních evidencí z let 1895-1990*. [ブラハの結社　1895年～1990年にかけての官庁記録に基づくブラハの結社目録]. Scriptorium, Praha, 1998.
- [23] 見市雅俊, 高木勇夫, 柿本昭人, 南直人, 川越修著. 『青い恐怖　白い街　コレラ流行と近代ヨーロッパ』. 平凡社, 1990.
- [24] ジョージ・L. モッセ著, 佐藤卓己, 佐藤八寿子訳. 『ナショナリズムとセクシュアリティ　市民道徳とナチズム』(パルマケイア叢書 7). 柏書房, 1996.
- [25] Claire E. Nolte. "Every Czech a Sokol! : Feminism and Nationalism in the Czech Sokol Movement". *Austrian History Yearbook*, Vol. 24, pp. 79-100, 1993.
- [26] Claire E. Nolte. *The Sokol in the Czech Lands to 1914: Training for the Nation*. Palgrave MacMillan, New York, 2002.
- [27] 小原淳. 「帝政期のドイツ・トゥルナー連盟 (Deutsche Turnerschaft) の数量的分析　1914年の統計史料を中心に」. 『西洋史論叢』(早稲田大学), 25号, pp. 65-81, 2003.
- [28] ジョージ・ローゼン著, 小栗史朗訳. 『公衆衛生の歴史』. 第一出版, 1974.
- [29] 阪上孝. 「公衆衛生の誕生　『大日本私立衛生会』の成立と展開」. 『経済論叢』(京都大学), 156巻4号, pp. 1-27, 1995.
- [30] 阪上孝(編). 『変異するダーウィニズム　進化論と社会』. 京都大学学術出版会, 2003.
- [31] 篠原琢. 「文化的規範としての公共圏　王朝的秩序と国民社会の成立」. 『歴史学研究』, 781号, pp. 16-25, 2003.
- [32] Blanka Soukupová. "České a německé spolky v Praze v 60. až 80. letech 19. století: Soužití a kulturní výměna". [1860-80年代におけるチェコ系結社とドイツ系結社　共存と文化的交流]. In *Pražané: jiní - druzí - cizí*, pp. 7-28. Ústav pro etnografii a folkloristiku ČSAV, Praha, 1992.
- [33] 竹中亨. 『帰依する世紀末　ドイツ近代の原理主義者群像』. ミネルヴァ書房, 2004.

図6 第6回ソコル祭典(1912年) 男子徒手体操
出典: *Památník sletu slovanského sokolstva roku 1912 v Praze*, 1919.

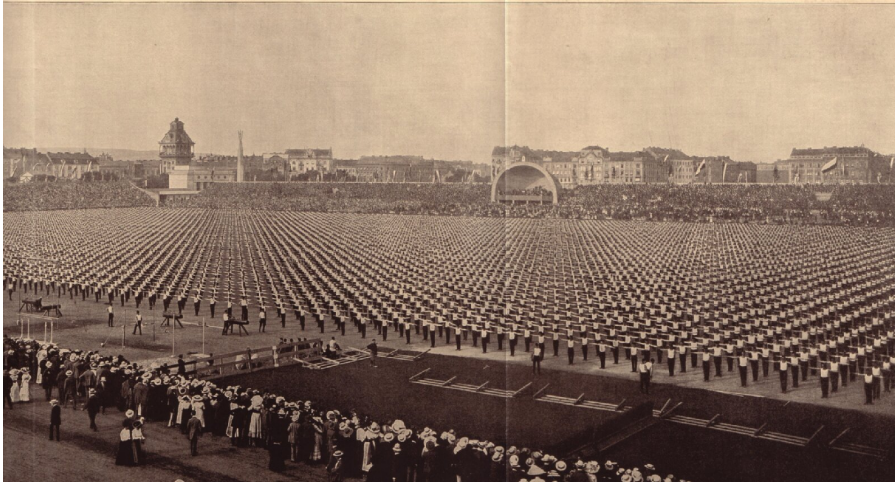
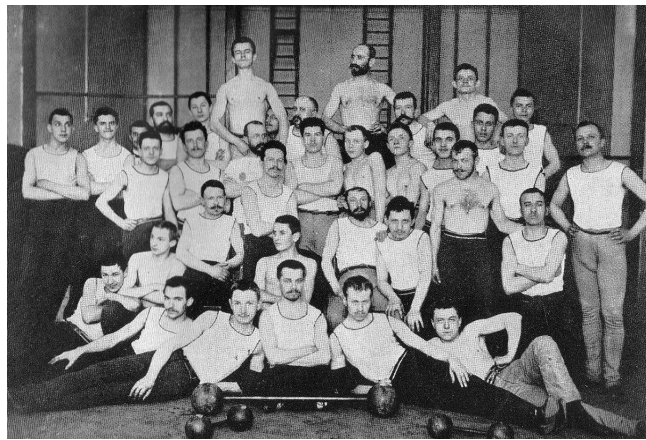


図7 マサリクとソコル(1894年) [後ろから2列目、左から3番目がマサリク]



出典: A. Krejčí, *T. G. Masaryk a Sokol*, 1947.

図8 第4回ソコル祭典におけるパレード(1901年)



出典: *IV slet všesokolský 1901*, n.d.